

山形村のやまのこ共同保育園(園長)は28日、スペイン人画家のミゲール・ペイドロさんとの交流会を開いた。収益の一部を園舎改築の資金に充てるため、29日から5月1日まで松本めいてつシヨールホール(松本市鎌田2)で開く「現代国際巨匠絵画展」に合わせて招いた。年中児と年長児の18人が参加した。水性ペンを使い、真っ白な紙に園庭で友達と遊ぶ様子などを思い思いに描き、ペイドロさんが山の風景や木を描き足した。園児らは「本物の山みた

山形

園児と画家 伸び伸び 共作



白い紙に絵を描いてペイドロさんと交流する園児

い」などどれしそだった。ペイドロさんは「子供は全身で感情を表現できる。自然と触れ合いながら、大きな園舎で元気に育ってほしい」と願っていた。

同園は来年度から認可保育園になるため、園舎の改築を計画している。園長は「多くの人に絵を見に足を運んでもらい、園の取り組みを知る機会になるとうれしい」と話していた。

絵画展は午前10時から午後7時までで、会期中の午前11時と午後2時、4時にはペイドロさんのサイン会が開かれる。

(田中理子)

# 山形村の保育園増築資金作り

## 松本できょうから絵画展

山形村の「山形やまのこ共 同保育園」が29日から、園舎増築の資金作りのために「現代国際巨匠絵画展」を松本市で開く。28日は招待作家とし

て開く。28日は招待作家とし

園の同園は本年度、床面積を2倍余に増築し60人の認可園となる予定。建設費約1億3800万円のうち1億2263万円は山形村などが補助するが、残る建設費と諸経費を合わせた数千万円を自己資金で賄うため、収益の一部を資金に充てる絵画展を企画し

た。メインのペイドロさんの風景画は販売する約120点の約半数だ。

幸せな保育園。作品が子どもたちのため役立てば」と話していた。

ペイドロさんは、園児らに「こんにちは」と元気に出迎えられると満面の笑み。絵を描く園児の間を回って山などの風景や動植物を描き足すと、子どもたちは楽しそうに見つめ「うれしい」。ペイドロさんは「自然に触れられる

絵画展は29日～5月1日、松本市鎌田2のめいてつシヨール第2ホール。入場無料で、油彩、水彩、版画など約120点を展示販売する。収益の一部は東日本大震災の義援金にもする予定。

# 信濃毎日新聞



絵を描いて交流する、園児とペイドロさん